



本書に関する追加の情報は次のサイトから提供予定です。

https://techiemedia.co.jp/books/

また、本書の記載内容についてのご質問は次のメールアドレスからお受けいたします。

books@techiemedia.co.jp

ご質問の内容によっては、回答時期の遅延、およびお答えできない場合がございます。あらかじ めご了承くださいますようお願い申し上げます。

 ・本書は、著作権法上の保護を受けています。構成/文書/図版/プログラム/画面データなど を含む本書の一部または全部について、株式会社テッキーメディアによる明示的な許諾を得ずに、 複写や複製、その他の著作権法上で規定された権利を侵害する行為は禁じられています。

・本書は情報の提供を目的としており、本書の内容やサンプルを運用した結果については、著者 や出版社などのいずれも保証をするものではなく、運用結果に関しても責任を負いません。

・本書の内容は本書の執筆時点の情報に基づくものであり、記載の URL 等の情報は予告なく変
 更される場合があります。また、サンプルプログラムやスクリプト、および実行結果を記した画
 面イメージなどは、一定の環境下で再現される一例です。

・本書に登場する会社名やシステム名、製品名は、各社の登録商標または商標です。TM、 (C)、 (R) などの記号は省略されることがあります。

QuickSight にサインアップした IAM ユーザーで AWS にログインし作業します。

QuickSight 削除

QuickSight にサインアップしたユーザー (lake-fishing) でサインインした状態で、右上の人型のアイコンをクリックし、 [QuickSightの管理] をクリックします。



[ユーザーを管理]をクリックし、招待したユーザーの右側にあるゴミ箱アイ コンをクリックし [削除]をクリックします。

3-7-122	コーザーを登録				
お吉禄のサプスクリプション	2-9-684			2-7-08# 0 FATOD-3488	
SPICE BIR					
アカウント設定	3-9-8	E X→Jr	$\Box \rightarrow h$	ステータス	799=>
セキュリティとアクセス権限	11110	1//////////////////////////////////////	114	112	
ANC 接続の面積	1111111	1///////	開発者 シ	820	1029-509895
ドメインと埋め込み					L

[アカウントの設定]をクリックし、[サブスクリプション解除]をクリックし ます。もう一度聞かれるので再度[サブスクリプション解除]をクリックします。

ユーザーを管理	アカウント設定
お客様のサブスクリプション	通知の E メールアドレス
SPICE 容量	
アカウント設定	このアドレスに、アクセスリクエストおよびサービスの通知が送信されます。
セキュリティとアクセス権限	J このアカウントへの IAM ユーザーのアクセスリクエストを有効にする。
VPC 接続の管理	この QuickSight アカウントを閉じる
ドメインと埋め込み	サブスクライブ解除すると、以下を含むこのアカウントに間違するすべてのコンテンツが削除されます
	 データソース データオート
	· 分析
	• 20000000000

IAM 削除

管理者ユーザーで AWS にログインし作業します。

QuickSight 利用時に自動で作成された IAM ポリシーを削除します。左側メ ニューの [ポリシー] をクリックし、検索窓に "quicksight" と入力し、 [AWSQuick-SightIAMPolicy] の対象のポリシーにチェックを入れ [ポリシーアクション] を クリックし、 [削除] をクリックします。



管理者ユーザーで AWS にログインし作業します。

Glue 削除

サービス一覧から Glue を選択します。左側メニューの [クローラ] をクリック し、対象のクローラ [chap7-crawler] にチェックを入れ [アクション] をクリッ クし、 [クローラの削除] をクリックします。



左側メニューの [データベース] をクリックし、対象のデータベース [chap7] にチェックを入れ [アクション] をクリックし、 [データベースの削除] をクリッ クします。これにより作成したテーブルも合わせて削除されます。



S3 削除

サービス一覧から S3 を選択します。左側メニューの [バケット] をクリック し、対象のバケット [chap7-lake-fishing] にチェックを入れ [削除] をクリック します。

確認画面が出ます。バケット名を再度入力し[確認]をクリックします。



IAM 削除

削除手順

サービス一覧から IAM を選択します。左側メニューの [ロール] をクリック し、検索窓に ["chap7" を入力し、対象のロール [AWSGlueServiceRole-chap7] にチェックを入れ [ロールの削除] をクリックします。次の確認画面で [はい、削 除します] をクリックします。



サービス一覧から IAM を選択します。左側メニューの [ポリシー] をクリック し、検索窓に ["chap7" を入力し、対象のポリシー [AWSGlueServiceRole-chap7] にチェックを入れ [ポリシーアクション] をクリックし、 [削除] をクリックし ます。次の確認画面で [削除] をクリックします。



管理者ユーザーで AWS にログインし作業します。

Glue 削除

サービス一覧から Glue を選択します。左側メニューの [クローラ] をクリッ クし、以下の対象のクローラにチェックを入れ [アクション] をクリックし、 [ク ローラの削除] をクリックします。

- chap8-crawler1
- chap8-crawler2
- chap8-crawler3



左側メニューの [ジョブ] をクリックし、対象のジョブ [chap8-job1] にチェッ クを入れ [**アクション**] をクリックし、 [削除] をクリックします。



左側メニューの [データベース] をクリックし、対象のデータベース [chap8] にチェックを入れ [アクション] をクリックし、 [データベースの削除] をクリッ クします。これにより作成したテーブルも合わせて削除されます。



左側メニューの [分類子] をクリックし、対象の分類子 [chap8-classifier] に チェックを入れ [アクション] をクリックし、 [分類子の削除] をクリックし次 の画面で [削除] をクリックします。



S3 削除

サービス一覧から S3 を選択します。左側メニューの [バケット] をクリック し、対象のバケット [chap8-lake-fishing] にチェックを入れ [削除] をクリック します。

確認画面が出ます。バケット名を再度入力し[確認]をクリックします。



IAM 削除

サービス一覧から IAM を選択します。左側メニューの [ロール] をクリック し、検索窓に "chap8" を入力し、対象のロール [AWSGlueServiceRole-chap8] に チェックを入れ [ロールの削除] をクリックします。次の確認画面で [はい、削 除します] をクリックします。



サービス一覧から IAM を選択します。左側メニューの [ポリシー] をクリック し、検索窓に [chap8] を入力し、対象のポリシー [AWSGlueServiceRole-chap8] にチェックを入れ [ポリシーアクション] をクリックし、 [削除] をクリックし ます。次の確認画面で [削除] をクリックします。



管理者ユーザーで AWS にログインし作業します。

Redshift 削除

サービス一覧から Redshift を選択します。左側メニューの [**クラスター**] をク リックし、対象のクラスタ [chap9-cluster] にチェックを入れ [**アクション**] を クリックし、 [削除] をクリックします。



次の確認画面で、[最終スナップショットの作成]のチェックを外し[削除]を クリックします。

	chap9-cluster を削除しますか?
	クラスターを削除すると、次の結果になります。 ・ クラスター内のすべてのデータベース(およびデータ)を削除します。 ・ 自動スナップショットを削除します ・ 手動で削除するまですべての手動スナップショットを保持します(存在しない) ・ 暗号化された手動スナップショットのキーを更新することはできません。 完全に削除してよるしいですか chap9-cluster?
-	最終スナップショット クラスターを削除する前に、後で復元できるように、クラスターの最終手動スナップショットを作成で きます。それを復元すると、クラスターの実行とデータのクエリを再開できます。 最終スナップショットを作成
	キャンセル 別除

Glue 削除

サービス一覧から Glue を選択します。左側メニューの [クローラ] をクリッ クし、以下の対象のクローラにチェックを入れ [アクション] をクリックし、 [ク ローラの削除] をクリックします。



S3 削除

削除手順

サービス一覧から S3 を選択します。左側メニューの [**バケット**] をクリック し、対象のバケット [chap9-lake-fishing] にチェックを入れ [削除] をクリックし ます。確認画面が出ます。バケット名を再度入力し [確認] をクリックします。

Amazon S3	AWS DataSync は、Amazon S3 との間でのデータの移動を自動化および高速化しま	ます。
パケット	▲ S3 パケット	
パッチオペレーショ ン	Q chap9-lake	
S3 のアクセスアナ ライザー	+ パケットを作成する パブリックアクセス設定を編集する 空にする 削除	
ブロックパブリック	✓ パケット名 ▼ アクセス 0 ▼	
アクセス (アカウン ト設定)	パケットとオブジェ パケットとオブジェ 非公司	クトド

CloudFormation 削除

サービス一覧から CloudFormation を選択します。左側メニューの [スタック] をクリックし、対象のスタック [chap9-stack] にチェックを入れ [削除] を クリックします。

CloudFormation	×	CloudFormation > スタック	
スタック		スタック (1)	
スタックの評問		Q, chap9-	
F 9 7 F			
StackSets			
エクスボート		スタックの名前	ステータス
	-	Chan9-stack	(CREATE

IAM 削除

サービス一覧から IAM を選択します。左側メニューの [ロール] をクリック し、検索窓に ["chap9" を入力し、対象のロール [AWSGlueServiceRole-chap9] と [chap9-role] にチェックを入れ [ロールの削除] をクリックします。次の確 認画面で [はい、削除します] をクリックします。



サービス一覧から IAM を選択します。左側メニューの [ポリシー] をクリック し、検索窓に ["chap9" を入力し、対象のポリシー [AWSGlueServiceRole-chap9] にチェックを入れ [ポリシーアクション] をクリックし、 [削除] をクリックし ます。次の確認画面で [削除] をクリックします。 

サービス一覧から IAM を選択します。左側メニューの [ユーザー] をクリック し、検索窓に ["uehara" (作成したユーザー名) を入力し、対象のユーザー [uehara] (作成したユーザー名) にチェックを入れ [ユーザーの削除] をクリックし [はい、 削除します] をクリックします。

